

高校2年生(第42期生)修学旅行だより

平成30年6月13日(水) 第4日目

【本日の主な行程】ウトロ温泉出発→知床五湖散策→オホーツク流氷館→網走(昼食)
→博物館網走監獄→道の駅(おんねゆ温泉)→層雲峡温泉(ホテル大雪)
午前に予定していた知床半島クルーズは高波の影響で、残念ながら中止となりました。

写真	活動内容
	<p>【知床五湖散策】</p> <p>昨日まで降っていた雨もすっかり止み、やや肌寒い空気を感じながら、全長約800mの木道を散策しました。地上2mほどの高さを這う木道から見える五湖周辺のパノラマは世界自然遺産の壮大さを感じさせてくれます。折り返し地点から鮮やかに見える一湖を背景に、生徒たちはめいめいに記念写真を撮っていました。</p>
	<p>【オホーツク流氷館】</p> <p>網走の冬の気温が体験できる-15℃の室内で、生徒たちは濡れたタオルを棒状に凍らせたり、本物の流氷をじかに触るなどし、あちこちで歓声を上げていました。また、流氷の天使と呼ばれる「クリオネ」をはじめ、「ナメダンゴ」や「フウセンウオ」などの珍しいオホーツクの生き物を食べ入るように眺めていました。</p>



【博物館網走監獄】

北海道開拓を担った網走監獄の歴史的意義をツアーガイドさんから聞くことができました。生徒たちは実際に使われた独居房の中に入ったり、囚人たちが労働で使用した「もっこ」を担ぐなど、興味関心を持って展示物に見入っていました。



【夕食】

本日は宿泊先の「ホテル大雪」で夕食です。生徒たちの食欲は旺盛そのもので、海の幸、山の幸のごちそうに舌鼓をうちました。



【講演会】

今日の講演会は旭山動物園の副園長、池谷優子先生からのお話でした。まず、獣医師である池谷さんが高校時代を振り返り、自身の進路選択について語ってくれました。また獣医師としての仕事を「動物を生かす」側面と「動物の死に関わる」側面に分け、特に動物に対して、時として死を「与える」立場ともなる獣医師という仕事の難しさを現場の貴重な体験をもとに分かりやすく語っていただきました。講演後は活発な生徒たちの質問に対する先生からの丁寧な応答があり、充実した時間となりました。

